

転倒・転落について

1 高齢者の転倒・転落

人間は加齢とともに、筋力の低下や、歩行障害、視力の衰えなどさまざま要因が重なり、バランスを保ちにくくなっていきます。高齢者になるとこれらの要因に加えて、病気や服薬によって転倒するリスクがさらに高まり、思わぬ場所で事故が発生することもあります。

《高齢者の転倒が多い場所》
最も多い場所は**自宅**です。



◎予防のポイント

- ・転倒しにくい靴下や靴を選ぶ。
- ・身体状況に適した住宅環境の整備。
- ・ベッドやイスなどはなるべく低いものにする。
- ・ベッドには転落防止の柵をつける。
- ・お風呂場や階段など滑りやすい場所には手すりをつける。

2 幼児の転倒・転落

屋外では階段や遊具、室内では階段の他にもベッド、イスやソファなどの家具から転落し負傷するケースがあるため、十分に気を配る必要があります。乳児は体に対して頭が大きく重いため、転落・転倒しやすいことを覚えておきましょう。

《幼児の転倒が多い場所》
最も多い場所は**自宅**です。



◎予防のポイント

- ・遊びだしたら目をはなさない。
- ・ソファの背もたれは、壁につける。
- ・ソファでは寝かせない。
- ・転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものは置かない。
- ・飲み込めそうなものは、手の届くところに置かない。

